



左から山内幸誠さん、濱野大悟さん

楽しい学校

諦めないチームをめざして

山内 幸誠さん（訓中2年 日出）

濱野 大悟さん（訓中2年 柏丘）

野球部主将として、部員一人一人の意見を大切にしながら、話し合いで解決することを心掛けています。

4月から新入生を迎えるにあたり、他校のチームの良いところを参考にしながら、元気があり、礼儀正しく仲の良いチームをめざしたいです。

将来は、技術の授業を通して物作りの楽しさに興味を持ち、大工になりたいです。（山内さん）
 野球部副主将として、ピンチの時もお互いに仲間を信頼してプレーすることと、どんなに点差がつかなくても諦めないチーム作りを心掛けています。
 今年の目標は全道大会出場と、中学校生活最後の1年となるので、1試合ごとに大切にプレーをしたいです。野球を続けながら、将来について具体的に検討したいです。（濱野さん）

人いきいき

活動を通して農業の発展に貢献を

小野 優人さん（豊坂 26歳）

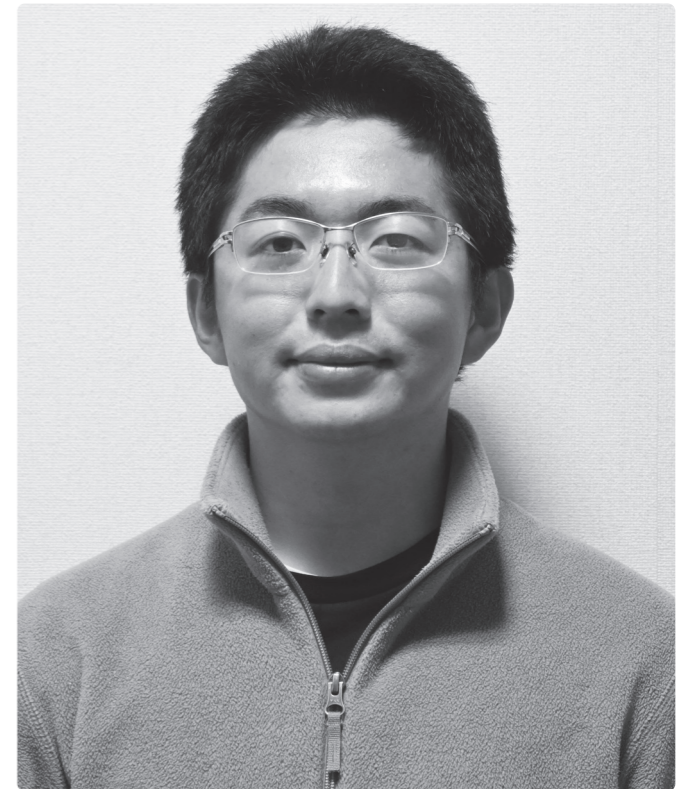
1月31日に札幌市で開催された「令和5年度北海道青年農業者会議」（全道大会）で優秀賞を受賞した訓子府町4Hクラブ。発表者の小野さんは「今後も会員とともに活動を通して、訓子府の農業の発展に貢献したい」と抱負を話していました。

4Hクラブでは令和3年から綿製パンツを畑の土に埋めて3か月後に掘り起こすことで、綿製パンツの分解と微生物の働きについて調査を行いました。この調査は、昨年12月12日に北見市で開催された「オホーツクアグリフォーラム2023～青年農業者大会」の「地域活動」部門のプロジェクト発表で最優秀賞を受賞し、全道大会出場権を獲得しました。

「このプロジェクトは管内では初めての取り組みであり、発表の際は来場者の反応も良くて、今後の活動の励みになりました。自分たちの活動が評価されたことをうれしく思います。全道大会の結果は優秀賞でしたが、今後も調査を継続してデータ分析を行い、将来的には最優秀賞を目標に活動していきたいと考えています」

「実家はタマネギとビート、大豆、春・秋まき小麦を生産している農家で、私は3代目です。幼少期からトラクターが好きで、農作業に従事する両親の姿を見て農業に憧れ、20歳のときに就農しました。就農と同時にJAきたみらい青年部、訓青協に所属して活動しています」

「4Hクラブではこれからも、このプロジェクトを中心として周囲に活動を紹介しながら、新しい仲間を増やしたいです。自分たちが楽しみながら活動を充実させて土壌づくりに生かし、安心安全な農作物の生産につなげることで、訓子府の農業の発展に貢献したいです」



短歌 訓子府短歌会

流水の流れつきたる鱒浦に 言葉のわからぬ旅人多し 清住 太田 豊	林間に樹氷の華の広がるや 美幌峠に車は向ふ 西 富 山本 祐一	雪祭り数年前のコロナ禍を 思ひおこさる賑はひの中 日出 山内スミエ	訓子府座シエークスピアの名作を 良くぞ制作座長らを讃ふ 旭 町 瀬谷 隆夫	ツタンカーメンの豌豆はるばる日本の 北の外れの試験場に咲く 東幸町 吉野 良華	キャベツ苗移植後ポット重ねおく 風はときどきあちをずらしぬ 東幸町 中島 玲子
厳冬のハウス除雪に君凍へ 湯に癒されつ眠り旅逝く 大 谷 昆野 範雄	三ヶ月待ちに待ったF1レース 躍る心は先にスタート 仲 町 三浦 洋一	後輩と熱く語る酒の席 次の日何も覚えていない 北見市 小泉 智也	「厳冬を楽しむまつり創ろう」と 若きら継ぎし四十五年 西幸町 乃里子	演目は世紀の悲恋の物語 熱演なりしすすり音聞こゆ 大 町 佐藤 幸子	

— 表紙から — 卒業おめでとう！

3月19日に行われた「訓小卒業式」の写真です。
 この写真をプレゼントしますので、ご希望の方は4月26日(金)までに、役場政策推進課窓口へお越しください。

